



平成 29 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
 代表者名 代表取締役兼最高管理責任者 長倉 統己
 (コード：3647 東証第二部)
 問合せ先 管理部次長 藤井 晃夫
 (TEL：03-5781-2522)

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社である株式会社エスアンドピー、エコ・キャピタル合同会社、株式会社タイズコーポレーションについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

なお、本件は、平成 29 年 4 月 7 日付「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関して、その他の関係会社の異動も生じていたものと判断したことから、平成 27 年 8 月期、及び平成 28 年 8 月期における支配株主等に関する事項をお知らせするものです。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等

平成 29 年 4 月 12 日現在の状況

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券等が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	合計	
エコ・キャピタル 合同会社	その他の 関係会社	26.93%	—	26.93%	—
株式会社 タイズコーポレーション	その他の 関係会社	—	26.93%	26.93%	—
株式会社 エスアンドピー	その他の 関係会社	15.75%	—	15.75%	—

※議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 7,714,000 株

平成 29 年 4 月 7 日時点の発行済株式総数 76,408,601 株

※平成 29 年 4 月 7 日付「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載いたしました、平成 29 年 4 月 7 日現在の状況から変更はありません。

平成 28 年 8 月期の状況（平成 28 年 8 月 31 日時点）

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券等が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	合計	
エコ・キャピタル 合同会社	その他の 関係会社	28.12%	—	28.12%	—
株式会社 エスアンドピー	その他の 関係会社	16.45%	—	16.45%	—

※議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 7,714,000 株

平成 28 年 8 月 31 日時点の発行済株式総数 73,508,601 株

※平成 28 年 1 月 29 日付「第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」により、当社は、株式会社エスアンドピーを処分先として自己株式 1,086,000 株の割当を行っております。

このため、平成 29 年 4 月 7 日付「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載いたしました、平成 27 年 12 月 18 日付異動時点のエコ・キャピタル合同会社の議決権所有割合 28.59% から 28.12%へと変更になっております。

平成 27 年 8 月期の状況（平成 27 年 8 月 31 日時点）

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券等が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	合計	
株式会社 エスアンドピー	その他の 関係会社	30.37%	—	30.37%	—
エコ・キャピタル 合同会社	その他の 関係会社	28.59%	—	28.59%	—

※議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 8,800,000 株

平成 27 年 8 月 31 日時点の発行済株式総数 73,508,601 株

※平成 27 年 7 月 30 日付「自己株式の取得及び事前公表型のオークション市場における自己株式の買付けに関するお知らせ」により、当社は、株式会社エスアンドピーが売却した 8,800,000 株を自己株式として取得しております。

このため、平成 29 年 4 月 7 日付「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」に記載いたしました、平成 27 年 7 月 15 日付異動時点の株式会社エスアンドピーの議決権所有割合 38.46% から 30.37%へと変更になっております。

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

平成 28 年 8 月期（平成 28 年 8 月 31 日時点）

- (1) 会社の名称：エコ・キャピタル合同会社
- (2) 理由：平成 28 年 8 月 31 日時点において、議決権所有割合が最も大きく、当社が割当てた平成 27 年 4 月 1 日付第 8 回行使価額固定型新株予約権の行使の結果によるものであるため。

平成 27 年 8 月期（平成 27 年 8 月 31 日時点）

- (1) 会社の名称：株式会社エスアンドピー
- (2) 理由：平成 27 年 8 月 31 日時点において議決権所有割合が最も大きく、また平成 27 年 8 月期において当社役員との兼任等があるため。

※平成 29 年 8 月期における、親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社につきましては、平成 29 年 11 月 30 日までに決定の上お知らせする予定です。

3. 非上場の親会社等に関する決算情報の開示の免除の理由

該当事項はありません。

エコ・キャピタル合同会社、及び株式会社エスアンドピーの対象期間における非上場の親会社等の決算につきましては、改めて、速やかにお知らせいたします。

4. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) エコ・キャピタル合同会社との関係

エコ・キャピタル合同会社は、有価証券の保有・運用・売買並びにその他投資業務を主たる目的とする会社であり、太陽光発電システムの企画、開発、販売等を行う株式会社タイズコーポレーションが出資持分の 100%を有することとなった投資ファンドです。

エコ・キャピタル合同会社の投資の目的は、純投資によるキャピタルゲインの獲得であるため、当社はエコ・キャピタル合同会社による親会社等の企業グループには属していません。

また、平成 27 年 8 月期及び平成 28 年 8 月期において、当社とエコ・キャピタル合同会社との間に事業上の取引および人的交流はありません。

このため、当社は、エコ・キャピタル合同会社がその他の関係会社に該当することとなった平成 27 年 12 月 18 日以降、今日に至るまで、エコ・キャピタル合同会社からの一定の独立性は確保されていると考えております。

(2) 株式会社タイズコーポレーションとの関係

株式会社タイズコーポレーションは、エコ・キャピタル合同会社の出資持分の 100%を有し代表社員となったことにより、平成 29 年 3 月 23 日付で、当社が、当社株式の間接保有による主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当すると判断した会社であります。

株式会社タイズコーポレーションの投資の目的は、エコ・キャピタル合同会社を通じての間接保有における純投資によるキャピタルゲインの獲得であるため、当社は株式会社タイズコーポレーションによる親会社等の企業グループには属していません。

また、平成 29 年 4 月 12 日現在において、当社と株式会社タイズコーポレーションとの間に事業上の取引および人的交流はありません。

このため、当社は、株式会社タイズコーポレーションがその他の関係会社に該当することとなった平成 29 年 3 月 23 日以降、今日に至るまで、株式会社タイズコーポレーションからの一定の独立性は確保されていると考えております。

(3) 株式会社エスアンドピーとの関係

株式会社エスアンドピーは、広告代理業、有価証券の売買、不動産投資業を行う会社であります。

株式会社エスアンドピーの投資の目的は、純投資によるキャピタルゲインの獲得であるため、当社は株式会社エスアンドピーによる親会社等の企業グループには属していません。

平成 27 年 8 月期において、株式会社エスアンドピーとは役員の兼任がありましたが、事業において一体とした運営は行われておらず、同社関係者は取締役 7 名のうち 2 名、

監査役3名のうち1名と、いずれも取締役構成、監査役構成においては少数であり、取引関係については、借入金による短期貸借に限定しておりました。

また平成28年8月期において、同社を割当先とする自己株式の処分を行いました。同期においては役員の兼任はなく、処分価額についても有利な処分価額に該当しないよう、当社取締役会にて慎重に決定しております。

このため、当社は、株式会社エスアンドピーがその他の関係会社に該当することとなった平成27年7月15日以降、今日に至るまで、株式会社エスアンドピーからの一定の独立性は確保されていると考えております。

(平成27年8月期における株式会社エスアンドピーによる役員の兼職状況)

役職	氏名	支配株主等での役職	就任理由
取締役	佐藤辰夫	創業者	経営に対して適切な監督、助言をいただけるものと考え、当社から要請し、招聘したものです。
取締役	山田勇次郎	代表取締役社長	経営に対して適切な監督、助言をいただけるものと考え、当社から要請し、招聘したものです。
社外監査役	稲垣隆秀	従業員	経営に対して適切な監督、助言をいただけるものと考え、当社から要請し、招聘したものです。

※佐藤辰夫氏は平成27年5月22日付で当社の取締役を退任しております。

※山田勇次郎氏は平成27年7月9日付で当社の取締役を退任しております。

※稲垣隆秀氏は平成27年5月22日付で当社の監査役を退任しております。

5. 支配株主等との取引に関する事項

(1) エコ・キャピタル合同会社との取引

該当事項はありません。

(2) 株式会社タイズコーポレーションとの取引

該当事項はありません。

(3) 株式会社エスアンドピーとの取引

平成27年8月期（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (千円)	事業 内容	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の 関係会社	株式会社 エスアン ドピー	名古屋市 名東区	10,000	広告 代理業	役員の兼任 資金の借入	資金借入	530,000	-	-
						借入金返済	530,000		
						利息支払	3,956		

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 株式会社エスアンドピーは、平成27年7月15日に主要株主であった佐藤辰夫氏から株式を譲り受けたことにより、主要株主となった会社であります。佐藤辰夫氏の近親者が株式を100%保有していることから、佐藤辰夫氏が主要株主であった期間も含めて記載しております。
- 資金の借入の金利につきましては、市場金利を勘案して合理的に決定しております。

平成 28 年 8 月期（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）

種類	会社等の 名称	所在地	資本金 (千円)	事業 内容	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
その他の 関係会社	株式会社 エスアン ドピー	名古屋市 名東区	10,000	広告 代理業	自己株式の 処分	自己株式の 処分	48,870	—	—
						株式短期売 買利益返還	3,475		

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 自己株式の処分価額につきましては、平成 27 年 7 月 31 日付自己株取得により生じた欠損の補填に充てる目的から、取得価額と同額である 1 株 45 円と決定しております。
- 株式短期売買利益の返還につきましては、金融庁により算出された、大株主が当社株式の短期売買を行った際に得るであろう利益の想定金額であります。

6. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

該当事項はありません。

7. その他

本件につきましては、平成 29 年 4 月 7 日付「その他の関係会社の異動に関するお知らせ」を踏まえ、平成 27 年 8 月期、平成 28 年 8 月期における支配株主等に関する事項をお知らせするものです。

平成 29 年 8 月期における支配株主等に関する事項は、平成 29 年 11 月 30 日までにお知らせする予定です。

以 上